

## 2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東  
コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂  
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 高根 生吹 (TEL) 080(7027)0983  
定時株主総会開催予定日 2024年3月25日 配当支払開始予定日 2024年3月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年3月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期の連結業績(2023年1月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	17,649	19.9	2,230	11.9	2,292	11.8	1,629	9.1
2022年12月期	14,716	4.5	1,993	31.5	2,051	43.8	1,493	41.7

(注) 包括利益 2023年12月期 1,029百万円(△35.3%) 2022年12月期 1,592百万円(30.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	40.84	—	21.7	14.4	12.6
2022年12月期	37.17	—	21.7	15.1	13.5

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 一百万円 2022年12月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	18,120	8,023	41.1	192.02
2022年12月期	13,820	7,964	54.8	188.09

(参考) 自己資本 2023年12月期 7,447百万円 2022年12月期 7,567百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	3,517	△4,165	1,608	4,805
2022年12月期	2,140	△1,935	△731	3,840

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12期	—	0.00	—	6.00	6.00	241	16.1	3.5
2023年12期	—	0.00	—	6.00	6.00	232	14.7	3.2
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想は未定であります。

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,557	10.8	1,072	11.2	1,062	5.8	744	△7.6	20.78
通期	18,200	3.1	2,323	4.2	2,303	0.5	1,529	△6.2	42.02

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 15「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年12月期	42,000,000株	2022年12月期	42,000,000株
2023年12月期	3,217,506株	2022年12月期	1,766,106株
2023年12月期	39,902,867株	2022年12月期	40,177,080株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	7,523	7.0	1,481	7.2	1,616	△10.6	1,326	△3.3
2022年12月期	7,031	21.7	1,382	5.4	1,808	18.4	1,371	50.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期	33.25		—					
2022年12月期	34.14		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	13,293	7,210	53.5	183.33
2022年12月期	11,132	7,426	66.7	184.58

(参考) 自己資本 2023年12月期 7,110百万円 2022年12月期 7,426百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P. 6「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2024年2月14日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計方針の変更)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報等)	15
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済状況は、企業収益や個人消費・インバウンド需要の改善を背景に、穏やかな回復基調で推移しました。また、海外経済においては、不安定な国際情勢による地政学リスクや中国景気の減速懸念に加え、欧米各国の金融引き締め長期化観測から、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)については、約2年半にわたるコロナ禍の影響を少なからず受けており、加盟店数や会員数の不足、マッチングアプリとのバッティングによるイベントの低迷を受け、「成婚組数2万組」「加盟相談所数7千社」「お見合い会員数17万人」「マッチング会員数25万人」へ修正いたしました。なお、成婚数の純増トレンドは変わらず、加盟店数、会員数の純増も引き続き継続する見込みです。修正中期経営計画に向けては、以下の3つの施策でプラットフォームを強化することで、引き続き業容の拡大に努めて参ります。

## 再設定した中期経営計画～「戦略と3つの施策」

戦略は「プラットフォーム強化」に尽きる  
⇒そのための3つの施策とM&A

### ①結婚情報サービス最大手「オーネット」との資本業務提携

### ②パーティー事業刷新。アプリユーザーの取り込み

### ③新たに「マッチング」プラットフォームを構築

## + ライフデザイン分野のM&A

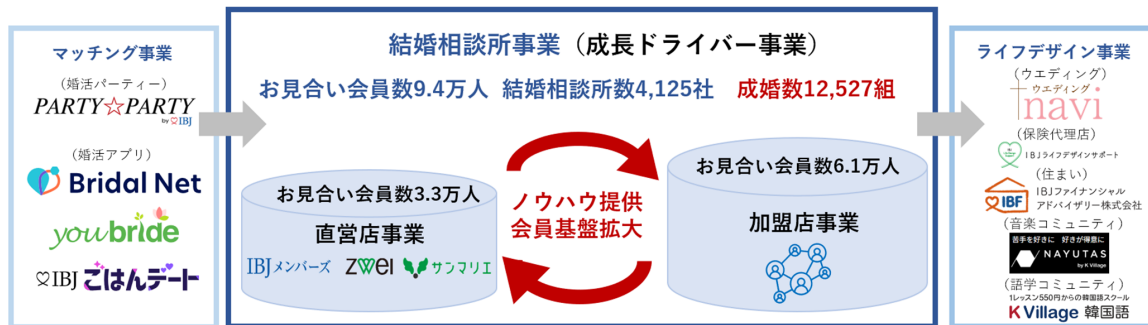
Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

当連結会計年度の売上高は17,649,498千円(前年同期比19.9%増)、営業利益は2,230,827千円(同11.9%増)、経常利益は2,292,344千円(同11.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,629,463千円(同9.1%増)となりました。

## 当社独自のビジネスモデル

## ②2024年の成長戦略

「直営店+加盟店」による日本最大の婚活プラットフォーム運営。  
さらに周辺事業も成長する独自のビジネスモデル



「マッチング事業」は「結婚相談所事業」のゲートウェイサービス、  
「ライフデザイン事業」は増えていく成婚数を主にターゲットにしたサービス

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

※成婚組数は2023年1月から12月の累計、お見合い会員数は、12月末時点でIBJ加盟店、IBJメンバーズ、サンマリエ、ZWEIの結婚相談所サービスに登録している会員数

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

#### (加盟店事業)

加盟店事業は、当連結会計年度において、株式会社オーネットと、会員基盤の拡大及び成婚者数の増加を図ることを目的に資本提携を伴う戦略的な業務提携契約を締結しました。

この提携は、IBJグループ全体のお見合い件数、成婚数、会員基盤の拡大への寄与はもとより、IBJ加盟店のお見合いの促進、加盟店の収益機会への大幅な拡大、IBJ加盟相談所数の伸長、市場全体の活性化、地方創生にも寄与するものです。

また、結婚相談所数は右肩上がり順調に推移しており、七十七銀行を始めとする地銀との提携(17例目)をはじめ、法人開業の機運は様々な業界に広がりを見せております。

これらの理由により、セグメント売上高は2,973,730千円(前年同期比7.5%増)、事業利益は1,827,083千円(同8.9%増)となりました。

#### (直営店事業)

直営店事業は、当連結会計年度において、入会者数が19,401名(前年同期比3.6%増)、お見合い件数が295,627件(前年同期比11.2%増)となり、いずれも増加しました。主な増加要因としては、直営3ブランド(IBJメンバーズ、ZWEI、サンマリエ)による積極的なノウハウの共有と、カウンセラーによる活動を促す手厚いサポートの相乗効果によるものです。

これらの理由により、セグメント売上高は8,379,771千円(前年同期比5.4%増)、事業利益は1,850,892千円(同4.4%減)となりました。

#### (マッチング事業)

マッチング事業は、20~30代の参加者数の増加を狙い、年代に応じたプライシングの最適化を実施しております。

また「恋愛リアリティショー」を配信しており、従来の顕在層に加え、潜在層へ向けた企画にも注力し、またアプリのUI・UX向上策、高品質なサービスの認知を高めることで、これから婚活を始める20~30代の「相談所入会予備軍」を囲い込み、相談所入会者数の増加を図りました。

その結果、当連結会計年度においてマッチング数が437,594件(前年同期比57.5%増)と高水準で推移しました。

なお、マッチング事業に含まれておりました株式会社Diverseを2022年第2四半期連結会計期間において、連結除外した影響により、セグメント売上高は減少しております。

これらの理由により、当連結会計年度において、セグメント売上高は1,838,423千円(前年同期比29.6%減)、事業利益は335,422千円(同31.0%増)となりました。

#### (ライフデザイン事業)

ライフデザイン事業は、当連結会計年度において、結婚相談所事業の成婚組数増加に伴い、指輪の成約件数は3,354件(前年同期比9.8%増)、保険の面談件数は1,843件(同45.3%増)と各KPIが好調に推移、結婚相談所事業からの送客を基盤として、安定的に収益を確保することができております。

住まい事業については、新婚向けの物件を増やし(当連結会計年度末の保有物件数52件、前年同期比173.7%増)、受け入れ強化を図ることで、さらなる収益拡大へ向けた取り組みを実施しております。

また、趣味・コミュニティ事業においては、韓国語教室やボイトレスクールを運営する株式会社K Village TokyoはK-POPブームを発端としたボイストレーニングやダンス需要を捉え、各教室生徒数が韓国語教室12,643名、ボイトレスクール2,053名と校舎数の増加に伴い順調に増加しております。

この結果、セグメント売上高は4,457,574千円(前年同期比220.0%増)、事業利益は491,438千円(同247.7%増)となりました。

## 事業別売上高・事業利益

(単位：百万円)		2022年					2023年					YoY(増減額)	YoY(増減率)
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
加盟店事業	売上高	560	719	770	715	2,766	780	711	755	726	2,973	+207	+7.5%
	L開業支援事業	258	408	437	381	1,486	420	362	379	336	1,499	+13	+0.9%
	L加盟店事業	302	310	333	333	1,280	359	348	375	390	1,473	+193	+15.1%
	事業利益	323	453	484	417	1,678	454	396	496	479	1,827	+148	+8.9%
	L開業支援事業	116	233	242	197	790	218	171	217	195	802	+11	+1.5%
	L加盟店事業	206	219	241	220	887	235	225	279	284	1,024	+136	+15.4%
直営店事業	売上高	1,907	1,995	2,005	2,039	7,947	2,051	2,106	2,118	2,103	8,379	+432	+5.4%
	事業利益	463	481	491	499	1,935	435	455	486	473	1,850	△84	△4.4%
マッチング事業 ※IBJごはんデート(旧:Rush)のパーティー事業からアプリ事業への組替に伴い、適及的に売上高・事業利益を変更	売上高	861	678	539	530	2,610	452	464	470	450	1,838	△771	△29.6%
	Lパーティー事業	262	338	333	343	1,277	270	280	274	260	1,085	△191	△15.0%
	Lアプリ事業	599	340	206	186	1,332	182	183	196	190	752	△580	△43.5%
	事業利益	49	82	66	58	256	39	63	116	115	335	+79	+31.0%
	Lパーティー事業	7	29	13	17	68	0	28	52	57	139	+71	+104.3%
	Lアプリ事業	42	52	53	40	187	38	35	64	57	196	+8	+4.4%
ライフデザイン事業 ※2023年1QよりM&Aによる業績寄与あり	売上高	317	325	375	374	1,392	579	579	2,485	812	4,457	+3,064	+220.0%
	事業利益	47	26	69	△1	141	132	93	250	33	509	+368	+260.8%

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

※11/10付開示の「(訂正)『2022年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)』の一部訂正に関するお知らせ」に伴い、上記2022年2Qの直営店事業の数値を一部訂正  
※事業利益=営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費、内部取引調整済み

## 事業別KPI

(期別)		2022年					2023年					YoY(増減)	YoY(増減率)	
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
結婚相談所事業 (加盟店+直営店)	結婚相談所数※	3,181	3,362	3,530	3,653	—	3,803	3,883	4,050	4,125	—	+472	+12.9%	
	入会数	11,649	12,878	12,580	11,907	49,014	12,225	13,087	13,496	12,554	51,362	+2,348	+4.8%	
	お見合い会員数※	88,453	90,484	91,883	91,493	—	91,410	93,370	94,508	94,035	—	+2,542	+2.8%	
	お見合い件数	161,978	175,361	183,764	178,962	700,065	178,172	192,070	197,754	196,819	764,815	+64,750	+9.2%	
	加盟店事業	新規開業件数	260	277	286	241	1,064	268	220	239	217	944	△120	△11.3%
		入会数	7,149	7,808	7,787	7,548	30,292	7,317	7,910	8,526	8,208	31,961	+1,669	+5.5%
		お見合い会員数※	56,897	58,044	58,996	58,803	—	58,461	59,633	60,524	60,581	—	+1,778	+3.0%
		お見合い件数	102,207	110,490	112,400	109,013	434,110	108,110	118,079	120,472	122,527	469,188	+35,078	+8.1%
	直営店事業	入会数	4,500	5,070	4,793	4,359	18,722	4,908	5,177	4,970	4,346	19,401	+679	+3.6%
		お見合い会員数※	31,556	32,440	32,887	32,690	—	32,949	33,737	33,984	33,454	—	+764	+2.3%
	お見合い件数	59,771	64,871	71,364	69,949	265,955	70,062	73,991	77,282	74,292	295,627	+29,672	+11.2%	

※各Q未時点

(期別)		2022年					2023年					YoY(増減)	YoY(増減率)
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
マッチング事業 ※IBJごはんデート(旧:Rush)のパーティー事業からアプリ事業への組替に伴い、適及的にマッチング人数を変更	パーティー参加者数	96,087	125,689	123,126	122,090	466,992	95,715	91,375	82,760	75,946	345,767	△121,225	△26.0%
	パーティー開催本数	8,660	11,034	10,851	10,561	41,106	8,284	7,787	7,490	7,208	30,756	△10,350	△25.2%
	マッチング人数(アプリ)	384,202	386,802	354,556	285,578	1,411,138	289,162	313,518	312,258	279,486	1,194,424	△216,714	△15.4%

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は8,091,124千円となり、前連結会計年度末に比べ、671,087千円増加しました。これは主に、現金及び預金が490,191千円、預け金が478,236千円、貸倒引当金が4,191千円増加したためです。

固定資産は10,029,193千円となり、前連結会計年度末に比べ3,628,370千円増加しました。これは主に、建物が308,268千円、土地が1,041,260千円、ソフトウェアが721,731千円、投資有価証券が899,901千円、長期前払費用が110,945千円、差入保証金が125,176千円、繰延税金資産が438,731千円増加した一方、のれんが27,096千円減少したためです。

この結果、総資産は18,120,318千円となり、前連結会計年度末に比べ4,299,458千円増加しました。



## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は7,187,807千円となり、前連結会計年度末に比べ3,319,066千円増加しました。これは主に、買掛金が449,024千円、短期借入金が2,295,817千円、未払金が181,188千円、未払法人税等が254,617千円増加したためです。

固定負債は2,908,637千円となり、前連結会計年度末に比べ920,525千円増加しました。これは主に長期借入金が883,198千円、資産除去債務が76,422千円増加したためです。

この結果、負債合計は10,096,445千円となり、前連結会計年度末に比べ4,239,591千円増加しました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は8,023,873千円となり、前連結会計年度末に比べ59,866千円増加しました。これは主に、資本剰余金が74,857千円、利益剰余金が1,388,059千円、自己株式が941,637千円、新株予約権が100,058千円、非支配株主持分が80,120千円が増加した一方、その他有価証券評価差額金が641,593千円減少したためです。

この結果、自己資本比率は41.1% (前連結会計年度末は54.8%) となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて964,840千円増加し、4,805,205千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により得られた資金は、3,517,856千円(前連結会計年度に得られた資金は2,140,377千円)でした。

主な増加要因は、税金等調整前当期純利益2,361,882千円、減価償却費419,169千円、のれん償却費267,121千円、投資有価証券評価損180,609千円、減損損失102,334千円、棚卸資産の減少額851,626千円、仕入債務の増加額243,549千円、未払金及び未払費用の増加額139,440千円などです。主な減少要因は、投資有価証券売却益379,773千円、法人税等の支払額による支出663,653千円などです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により使用した資金は、4,165,709千円(前連結会計年度に使用した資金は1,935,780千円)でした。

主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入535,775千円などです。主な減少要因は、有形固定資産の取得による1,621,300千円、無形固定資産の取得による支出881,125千円、投資有価証券の取得による支出1,991,358千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出112,104千円、敷金及び保証金の差入による支出132,580千円などです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により得られた資金は、1,608,796千円(前連結会計年度に使用した資金は731,008千円)でした。

主な増加要因は、短期借入れによる収入2,745,817千円、長期借入れによる収入1,093,290千円などです。主な減少要因は、短期借入金の返済による支出450,000千円、長期借入金の返済による支出513,800千円、自己株式の取得による支出1,093,966千円、配当金の支払額241,468千円などです。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高18,200,854千円(当年度比3.1%増)、営業利益2,323,963千円(当年度比4.2%増)、経常利益2,303,313千円(当年度比0.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,529,031千円(当年度比6.2%減)を見込んでおります。

当連結会計年度におけるリート売却要因を除く既存事業については、以下の通りの成長予想となります。

## 2024年12月期通期連結業績予想①

今期は積極的な成長投資の時期としつつ、業績も成長予想

(百万円)	2023年12月期実績	2024年12月期予想	増減額	増減率
売上高	17,649	18,200	+551	+3.1%
	リート売却除く 15,898		+2,302	+14.5%
営業利益	2,230	2,323	+92	+4.2%
	リート売却除く 2,129		+194	+9.1%
経常利益	2,292	2,303	+10	+0.5%
	リート売却除く 2,191		+112	+5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,629	1,529	▲100	▲6.2%
	リート売却除く 1,528		+1	+0.1%

Copyright © IBJ, Inc. All rights reserved.

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社が判断したものであり、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。公正取引委員会の調査結果につきましては、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」をご参照ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,298,833	3,789,025
売掛金	1,297,961	1,627,407
営業投資有価証券	1,970,271	939,562
商品及び製品	1,480	10,610
原材料及び貯蔵品	3,088	3,105
前渡金	1,372	2,664
前払費用	291,232	354,718
1年内回収予定の長期貸付金	1,999	1,999
預け金	548,682	1,026,918
その他	14,854	349,043
貸倒引当金	△9,739	△13,931
流動資産合計	7,420,037	8,091,124
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,708,252	2,292,612
減価償却累計額	△654,973	△931,064
建物(純額)	1,053,279	1,361,547
車両運搬具	10,589	10,880
減価償却累計額	△5,055	△7,133
車両運搬具(純額)	5,534	3,746
工具、器具及び備品	668,320	592,398
減価償却累計額	△584,523	△509,522
工具、器具及び備品(純額)	83,796	82,876
土地	497,219	1,538,479
リース資産	40,149	37,494
減価償却累計額	△18,048	△23,718
リース資産(純額)	22,100	13,775
有形固定資産合計	1,661,929	3,000,425
無形固定資産		
のれん	1,554,194	1,527,097
ソフトウェア	348,416	1,070,148
ソフトウェア仮勘定	1,260	10,201
無形固定資産合計	1,903,870	2,607,446
投資その他の資産		
投資有価証券	1,061,156	1,961,057
長期前払費用	109,513	220,459
長期貸付金	4,833	2,833
繰延税金資産	270,060	708,791
保険積立金	252,721	266,015
差入保証金	1,131,697	1,256,874
その他	5,040	5,290
投資その他の資産合計	2,835,021	4,421,320
固定資産合計	6,400,822	10,029,193
資産合計	13,820,859	18,120,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,191	487,216
短期借入金	921,000	3,216,817
1年内返済予定の長期借入金	373,856	280,684
未払金	678,697	859,885
未払費用	688,461	707,960
未払法人税等	339,710	594,328
未払消費税等	223,837	140,125
前受金	553,447	583,167
リース債務	6,439	6,675
賞与引当金	1,661	—
その他	43,437	310,946
流動負債合計	3,868,741	7,187,807
固定負債		
長期借入金	1,337,394	2,220,592
リース債務	15,635	6,947
資産除去債務	594,647	671,070
その他	40,435	10,028
固定負債合計	1,988,112	2,908,637
負債合計	5,856,853	10,096,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	854,782	929,640
利益剰余金	6,593,394	7,981,454
自己株式	△901,709	△1,843,347
株主資本合計	7,246,052	7,767,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,420	△320,172
その他の包括利益累計額合計	321,420	△320,172
新株予約権	634	100,693
非支配株主持分	395,898	476,019
純資産合計	7,964,006	8,023,873
負債純資産合計	13,820,859	18,120,318

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,716,649	17,649,498
売上原価	538,418	2,552,911
売上総利益	14,178,231	15,096,587
販売費及び一般管理費	12,185,002	12,865,760
営業利益	1,993,229	2,230,827
営業外収益		
受取利息	211	190
受取配当金	17,283	16,811
有価証券評価益	43,401	-
補助金収入	-	17,004
保険解約返戻金	-	16,000
営業補償金	-	22,000
その他	8,584	8,861
営業外収益合計	69,481	80,868
営業外費用		
支払利息	4,622	11,998
保証金償却	2,362	-
投資事業組合運用損	502	426
支払手数料	-	3,281
その他	4,147	3,644
営業外費用合計	11,634	19,351
経常利益	2,051,076	2,292,344
特別利益		
固定資産売却益	924	2,286
投資有価証券売却益	-	379,773
関係会社株式売却益	6,434	-
その他	-	18,100
特別利益合計	7,358	400,160
特別損失		
固定資産除却損	3,348	32,714
投資有価証券評価損	-	180,609
減損損失	17,344	102,334
店舗閉鎖損失	10,477	918
解約違約金	12,995	-
その他	320	14,044
特別損失合計	44,486	330,622
税金等調整前当期純利益	2,013,948	2,361,882
法人税、住民税及び事業税	705,592	877,244
法人税等調整額	△155,819	△186,591
法人税等合計	549,772	690,653
当期純利益	1,464,176	1,671,228
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△29,394	41,765
親会社株主に帰属する当期純利益	1,493,570	1,629,463

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益	1,464,176	1,671,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127,869	△641,593
その他の包括利益合計	127,869	△641,593
包括利益	1,592,045	1,029,635
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,621,439	987,870
非支配株主に係る包括利益	△29,394	41,765

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年1月1日 至2022年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	699,585	802,475	5,474,661	△999,338	5,977,383
当期変動額					
剰余金の配当			△240,269		△240,269
親会社株主に帰属する当期純利益			1,493,570		1,493,570
譲渡制限付株式報酬		52,306		97,628	149,935
連結子会社株式の売却による持分の増減			△134,567		△134,567
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	52,306	1,118,733	97,628	1,268,668
当期末残高	699,585	854,782	6,593,394	△901,709	7,246,052

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	193,551	193,551	634	451,875	6,623,445
当期変動額					
剰余金の配当					△240,269
親会社株主に帰属する当期純利益					1,493,570
譲渡制限付株式報酬					149,935
連結子会社株式の売却による持分の増減				△81,550	△216,118
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	127,869	127,869		25,573	153,443
当期変動額合計	127,869	127,869	-	△55,977	1,340,560
当期末残高	321,420	321,420	634	395,898	7,964,006

当連結会計年度(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	699,585	854,782	6,593,394	△901,709	7,246,052
当期変動額					
剰余金の配当			△241,403		△241,403
親会社株主に帰属する当期純利益			1,629,463		1,629,463
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		11,660			11,660
自己株式の取得				△1,093,966	△1,093,966
譲渡制限付株式報酬		63,197		152,329	215,526
新株予約権の発行					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	74,857	1,388,059	△941,637	521,280
当期末残高	699,585	929,640	7,981,454	△1,843,347	7,767,333

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	321,420	321,420	634	395,898	7,964,006
当期変動額					
剰余金の配当					△241,403
親会社株主に帰属する当期純利益					1,629,463
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					11,660
自己株式の取得					△1,093,966
譲渡制限付株式報酬					215,526
新株予約権の発行			100,058		100,058
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△641,593	△641,593		80,120	△561,472
当期変動額合計	△641,593	△641,593	100,058	80,120	59,866
当期末残高	△320,172	△320,172	100,693	476,019	8,023,873



## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,013,948	2,361,882
減価償却費	358,976	419,169
のれん償却額	250,011	267,121
長期前払費用償却額	2,254	1,768
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,587	4,141
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,801	△1,661
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,240	-
受取利息及び受取配当金	△17,495	△17,002
支払利息	4,622	11,998
固定資産除却損	3,348	32,714
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△379,773
関係会社株式売却損益 (△は益)	△6,434	-
投資事業組合運用損益 (△は益)	502	-
有価証券評価損益 (△は益)	△43,401	180,609
減損損失	17,344	102,334
売上債権の増減額 (△は増加)	△168,763	32,663
前渡金の増減額 (△は増加)	3,082	6,727
預け金の増減額 (△は増加)	△2,682	△3,547
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△81,321	851,626
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,066	243,549
前受金の増減額 (△は減少)	35,946	△6,754
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	64,251	139,440
未払消費税等の増減額 (△は減少)	110,459	△84,723
その他	20,910	14,261
小計	2,573,172	4,176,547
利息及び配当金の受取額	17,492	17,002
利息の支払額	△3,498	△12,039
法人税等の支払額	△446,788	△663,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,140,377	3,517,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△646,744	△1,621,300
資産除去債務の履行による支出	△24,137	-
無形固定資産の取得による支出	△130,943	△881,125
投資有価証券の売却による収入	-	535,775
投資有価証券の取得による支出	△486,740	△1,991,358
事業譲受による支出	△19,181	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△510,233	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△112,104
貸付けによる支出	△64,211	△3,856
貸付金の回収による収入	1,999	5,855
敷金及び保証金の差入による支出	△121,024	△132,580
敷金及び保証金の回収による収入	57,619	44,196
その他	7,817	△9,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,935,780</b>	<b>△4,165,709</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の発行による収入	-	27,361
短期借入れによる収入	651,000	2,745,817
短期借入金の返済による支出	△1,140,000	△450,000
長期借入れによる収入	400,000	1,093,290
長期借入金の返済による支出	△393,500	△513,800
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	50,016
自己株式の取得による支出	-	△1,093,966
配当金の支払額	△240,076	△241,468
その他	△8,431	△8,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△731,008</b>	<b>1,608,796</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>4,803</b>	<b>3,896</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△521,607	964,840
現金及び現金同等物の期首残高	4,361,973	3,840,365
現金及び現金同等物の期末残高	3,840,365	4,805,205

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(公正取引委員会の立入検査について)

当社は、当社が運営する「IBJ(旧:日本結婚相談所連盟)」の提供内容に関し、2023年3月23日より公正取引委員会による調査を受けておりましたが、このたび当社が提出した確約計画について公正取引委員会の認定を受け、2024年1月22日に本調査は終了いたしました。なお、確約手続は、当社が独占禁止法に違反したことを認定するものではなく、排除措置命令や課徴金納付命令を受けることもございません。

今後、当社は認定を受けた確約計画を確実に履行するとともに、独占禁止法の遵守をはじめとするコンプライアンスの徹底をより一層強化してまいります。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (1) 加盟店事業

当セグメントは開業支援事業と加盟店事業より構成されております。

- ・開業支援事業は、法人・個人向けの結婚相談所事業の開業支援を中心に、当社が提供する日本最大級の婚相談所ネットワーク「IBJお見合いシステム」を利用する結婚相談所事業者の集客を事業としております。
- ・加盟店事業は、加盟相談所及びそのお見合い会員に対して、会員管理やお見合いセッティング等のための、お見合い基幹システムの提供や、結婚相談所事業者が加盟する「IBJ(旧:日本結婚相談所連盟)」の運営を事業としております。

## (2) 直営店事業

・直営店事業は、主要都市及びターミナル立地に特化した「IBJメンバーズ」、プロ仲人専任サービスが特徴の「サンマリエ」、日本全国に51店舗展開する「ZWEI」の3ブランドを直営結婚相談所として運営しており、直営店事業のお見合い会員に対する結婚相談カウンセリングやお見合いセッティング・交際管理等、対面型の結婚相手紹介サービスの提供を事業としております。

## (3) マッチング事業

当セグメントはパーティー事業とアプリ事業より構成されております。

- ・パーティー事業は、婚活パーティーのイベント企画やその参加者募集WEBサイト「PARTY☆PARTY」の運営と開催に加えて、自社会場と外部会場開催の各種イベントの企画、開催を事業としております。
- ・アプリ事業は、専任カウンセラーの婚シェルが出会いまでをサポートする婚活アプリ「ブライダルネット」に加えて、「youbride」など複数のマッチングサービスを提供しております。

## (4) ライフデザイン事業

当セグメントは、趣味・コミュニティ事業、住まい事業、保険代理店事業、ウエディング事業により構成されております。

- ・株式会社K Village Tokyoの趣味・コミュニティ事業は、日韓最大のコミュニティを創ることを目的として、韓国語教室の運営、韓国留学支援、ボイストレーニングスクール「NAYUTAS(ナユタス)」の運営、K-POPアイドル

ル等のライブ企画を手掛けるエンタメ事業、美容コミュニティ事業を展開しております。

- ・IBJファイナンシャルアドバイザー株式会社の住まい事業は、物件の紹介や不動産賃貸、住宅ローンの提供等を事業としております。
- ・保険代理店事業は、人生設計のサポートやリスクヘッジ、財産形成のニーズへの保険提案を事業としております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報 前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転されるサービス	1,745,667	2,524,805	1,814,356	121,148	6,205,978	—	6,205,978
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,020,598	5,422,387	796,052	1,184,389	8,423,428	—	8,423,428
顧客との契約から生じる収益	2,766,266	7,947,192	2,610,409	1,305,537	14,629,406	—	14,629,406
その他の収益	—	—	—	87,243	87,243	—	87,243
外部顧客への売上高	2,766,266	7,947,192	2,610,409	1,392,781	14,716,649	—	14,716,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	132,984	61,241	23,638	104	217,968	△217,968	—
計	2,899,251	8,008,434	2,634,047	1,392,885	14,934,618	△217,968	14,716,649
セグメント利益	1,649,202	1,562,502	131,364	86,868	3,429,937	△1,436,708	1,993,229
その他の項目							
減価償却費	29,319	166,403	108,745	31,877	336,345	22,630	358,976
長期前払費用償却	—	367	403	1,483	2,254	—	2,254
減損損失	—	3,004	14,340	—	17,344	—	17,344
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	32,074	126,894	100,716	546,687	806,372	118,287	924,659

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,436,708千円には、セグメント間取引消去1,553千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,438,262千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債については、事業セグメントに資産を配分しておらず、最高経営意思決定機関による意思決定に際し、当該情報を利用していないため記載しておりません。
4. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高							
一時点で移転される サービス	1,832,965	2,727,858	1,134,192	983,352	6,678,368	—	6,678,368
一定の期間にわたり 移転されるサービス	1,140,764	5,651,912	704,230	1,551,806	9,048,714	—	9,048,714
顧客との契約から 生じる収益	2,973,730	8,379,771	1,838,423	2,535,159	15,727,083	—	15,727,083
その他の収益	—	—	—	1,922,415	1,922,415	—	1,922,415
外部顧客への売上高	2,973,730	8,379,771	1,838,423	4,457,574	17,649,498	—	17,649,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122,659	38,146	39,264	—	200,070	△200,070	—
計	3,096,389	8,417,917	1,877,687	4,457,574	17,849,569	△200,070	17,649,498
セグメント利益	1,792,675	1,455,334	250,369	371,624	3,870,004	△1,639,176	2,230,827
その他の項目							
減価償却費	34,407	189,167	84,053	76,756	384,385	34,784	419,169
長期前払費用償却	—	61	67	1,639	1,768	—	1,768
減損損失	—	25,867	14,716	61,750	102,334	—	102,334
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	82,560	211,867	113,137	1,754,003	2,161,599	663,676	2,825,275

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,639,176千円には、セグメント間取引消去799千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,639,976千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債については、事業セグメントに資産を配分しておらず、最高経営意思決定機関による意思決定に際し、当該情報を利用していないため記載しておりません。
4. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	188円09銭	192円02銭
1株当たり当期純利益	37円17銭	40円84銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,493,570	1,629,463
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,493,570	1,629,463
普通株式の期中平均株式数(株)	40,177,080	39,902,867
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 株式会社K Village Tokyo 第1回新株予約権 (1) 新株予約権の数 2,450個 (2) 新株予約権の目的となる株式の種類 普通株式 (3) 新株予約権の目的となる株式の数 2,450株	提出会社 2023年4月19日開催の取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 17,930個 (普通株式 1,793,000株) 2023年4月19日開催の取締役会決議による第6回新株予約権 新株予約権の数 2,789個 (普通株式 278,900株)  連結子会社 株式会社K Village Tokyo 第1回新株予約権 新株予約権の数 2,450個 (普通株式 2,450株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。